

『三四郎』 文献書誌 (一)

村 田 好 哉
Yoshiya Murata

本書誌は夏目漱石の作品『三四郎』(明治41年)に関する参考文献を編年形式で配列したものである。文献書誌を作成するにあたり既成目録の補遺とあわせて雑誌初出論文の単行本収録状況を明らかにすることに重点を置いた。

表題に『三四郎』を冠した論文、エッセイ等は昭和十年以降から現在までに五百近くにのぼる。作品『三四郎』に言及した論考となると千編を超えるものと推定される。『三四郎』に関する文献書誌作成の試みを通じて漱石研究における書誌学的アプローチの重要性に思いを巡らせている。

もとより本書誌の試みはささやかなものであり、多くの遺漏・誤りがあると思われる。諸先学の御教示を待ちたい。

(一) 研究論文、エッセイ、その他の記載は次の通りである。

著者名 表題 頁数 発表紙誌名 巻号数 編集発行所名 発行年月日

(二) 単行本収録の論文、エッセイその他の記載は次の通りである。

著者名 表題 頁数 書名 編者名 発行所名 発行年月日

既成の漱石文献目録との関連から発行年が西暦で記されているものは、昭和(平成)の年号に統一しアラビア数字に変えた。雑誌の巻号数もアラビア数字を用いた。

昭和21年(一九四六)

岡崎義恵 漱石の恋愛観 25～27頁 『婦人朝日』 第1巻4号5月号

朝日新聞東京本社発行 朝日新聞社発売 昭和21年5月1日

(漱石の恋愛観 漱石の恋愛体験 65～71頁 『漱石と微笑』収録

生活社 昭和22年3月15日)

(漱石の恋愛観 漱石の恋愛体験 57～63頁 『漱石と微笑』作家

論シリーズ4』収録 東京ライフ社 昭和31年2月25日)

(Ⅲ 漱石論十章 漱石の恋愛観 一 漱石の恋愛体験 225～231頁

『岡崎義恵著作選集 森鷗外と夏目漱石』収録 宝文館出版 昭和48年2月25日)

岡崎義恵 漱石の作品に現れた女性 43～49頁 『婦人文庫』 第1

巻5号 鎌倉文庫 昭和21年9月1日

(漱石の作品に現れた女性 213～228頁 『漱石と微笑』収録 生活

社 昭和22年3月15日)

(漱石の作品に現れた女性 185～197頁 『漱石と微笑』作家論シリー

ズ4』収録 東京ライフ社 昭和31年2月25日)

(夏目漱石の精神風景二、作品における女性像 251～262頁 『岡崎

義恵著作選集 近代文芸の美』収録 宝文館出版 昭和48年11月20

日)

昭和22年(一九四七)

岡崎義恵 漱石の恋愛観 『三四郎』『夢十夜』 144～161頁／『そ

れから』と『門』 162～168頁／『彼岸過迄』と『行人』 169～176

頁／『則天去私と愛の問題』 202～212頁 『漱石と微笑』収録 生活

社 昭和22年3月15日

〔漱石の恋愛観〕「三四郎」125～141頁／「それから」と「門」141～147頁／「彼岸過迄」と「行人」147～153頁／則

天去私と愛の問題 174～184頁 『漱石と微笑 作家論シリーズ4』収録 東京ライフ社 昭和31年2月25日)

〔Ⅲ漱石論十章 漱石の恋愛観 十、「三四郎」と「夢十夜」 289～304頁／十一、「それから」と「門」 304～310頁／十二、「彼岸過迄」と「行人」 310～316頁／一六、則天去私と愛の問題 336～345頁 』岡崎義恵著作選集 森鷗外と夏目漱石』収録 宝文館出版 昭和48年2月25日)

岡崎義恵 漱石と微笑 「草枕」のうすわらひ 5～12頁／「門」の御米 21～27頁 『漱石と微笑』生活社 昭和22年3月15日

〔漱石と微笑 「草枕」のうすわらひ 7～13頁／「門」の御米 20～25頁 』漱石と微笑 作家論シリーズ4』収録 東京ライフ社 昭和31年2月25日)

〔夏目漱石の精神風景一、漱石と微笑 1「草枕」のうすわらひ 204～210頁／3「門」の御米 216～222頁 』岡崎義恵著作選集 近代文芸の美』収録 宝文館出版 昭和48年11月20日)

岡崎義恵 漱石における特殊と普遍 230～252頁 『漱石と微笑』生活社 昭和22年3月15日

〔特殊研究 漱石における特殊と普遍 247～254頁 』夏目漱石全集第十二巻 漱石研究篇』収録 荒正人編 創芸社 昭和29年8月5日)

〔漱石における特殊と普遍 198～217頁 』漱石と微笑 作家論シリーズ4』収録 東京ライフ社 昭和31年2月25日)

〔Ⅱ特殊研究 漱石における特殊と普遍 89～103頁 』漱石全集別

巻 漱石案内他』収録 伊藤整・吉田精一編 角川書店 昭和36年8月25日)

〔Ⅲ漱石論十章 特殊と普遍 438～455頁 』岡崎義恵著作選集 森鷗外と夏目漱石』収録 宝文館出版 昭和48年2月25日)

和田利男 二、漱石のユーモアの基調 1、落語趣味 25～32頁／三、漱石のユーモアの諸相 1、性格のユーモア (又)「三四郎」の與次郎 133～144頁／3、食慾のユーモア 153～178頁 『漱石のユーモア』人文書院 昭和22年5月20日

塩田良平 青春の文学 「三四郎」7～26頁／「青年」26～48頁／明治の武蔵野 114～129頁 『青春の文学』晃文社 昭和22年8月15日

大内兵衛 兵衛の上京 3～16頁 『青春の歎びの中に』学生書房編 集部 学生書房 昭和22年11月15日

〔兵衛の上京 1～15頁 』旧師旧友』収録 岩波書店 昭和23年8月30日)

〔旧師旧友 兵衛の上京 145～149頁 』昭和文学全集37長谷川如是閑・大内兵衛・笠信太郎集』収録 角川書店 昭和29年5月30日)

小場瀬卓三 夏目漱石と近代精神 27～32頁 『世界評論』第2巻6号12月号 世界評論社 昭和22年12月1日

〔昭和23年(一九四八) 福原麟太郎 漱石門外 「夏目漱石全集 月報第19輯」 夏目伸六編 桜菊書院内明治文学刊行会 昭和23年 (セロファン・テープ 漱石門外 199～204頁 『われ愚人を愛す』収録 文芸春秋新社 昭和27年12月20日)

〔漱石門外 233〕237頁 『野方閑居の記』収録 新潮社 昭和39年11月5日)

(文学的風景 漱石門外 463〕468頁 『福原麟太郎著作集7 隨筆Ⅲ 人生・読書』収録 研究社出版 昭和44年6月25日)

(三四郎日和 漱石門外 153〕159頁 『夏目漱石』収録 荒竹出版 昭和48年9月25日)

(漱石門外 239〕243頁 『野方閑居の記 福原麟太郎自選隨想集』収録 沖積舎 昭和62年2月20日)

高須芳次郎 夏目漱石に描かれた女性 23〕38頁 『作家に描かれた女性』 萬葉出版社 昭和23年6月10日

宇田道隆 漱石師と寅彦先生 47〕50頁 『寺田寅彦』 アテネ文庫 23 弘文堂 昭和23年7月25日

矢本貞幹 シェイクスピアの影響 75〕96頁／ 漱石の自然觀 122〕173頁 『漱石の精神』 秋田屋 昭和23年8月15日

岡崎義恵 文芸における思想の位置 11〕37頁 『芸術と思想』 角川書店 昭和23年9月30日

大井征 解説 304〕310頁 『三四郎』 新潮文庫 新潮社 昭和23年10月25日

昭和24年(一九四九)

V・H・ヴィリエルモ メレディスと漱石―心理小説についての一考察― 30〕33頁 『塔』 第1巻5号 羽田書房 昭和24年5月1日

伊藤整 解説 399〕419頁 (坊っちゃん 草枕 夢十夜 倫敦塔 三四郎所収) 『現代日本小説大系第16巻 夏目漱石』 河出書房

昭和24年5月20日

(夏目漱石 28〕44頁 『作家論』収録 筑摩書房 昭和36年12月15日)

(夏目漱石 70〕90頁 『作家論I』収録 角川文庫 角川書店 昭和39年10月30日)

(夏目漱石I 118〕132頁 『伊藤整全集第19巻 夏目漱石・森鷗外 外他』収録 新潮社 昭和48年9月15日)

金森徳次郎 明治の興奮 好書一代男その八 4〕4頁 『日本古書通信』 第14巻7号 復刊第26号 日本古書通信社 昭和24年7月15日

岡崎義恵 解説 289〕292頁 『日本文学選 三四郎』 光文社 昭和24年7月20日

平田次三郎 三四郎 187〕188頁 『現代日本文学辞典』 近代文学社 編 河出書房 昭和24年7月25日

矢島祐利 四、大学院学生・大学講師【明治三十六年―四十一年】 46〕69頁 『寺田寅彦』 岩波書店 昭和24年10月23日

中野博雄 漱石の文体について 21〕25頁 『文学研究』 創刊号 文学研究会 昭和24年11月10日

昭和25年(一九五〇)

吉田孝次郎 「三四郎」について(東京大学国語国文学会研發表要旨 昭和24年11月5・6日) 59〕59頁 『国語と国文学』 第27巻2号 東京大学国語国文学会 至文堂 昭和25年2月1日

片岡良一 「三四郎」について 285〕297頁 『三四郎』 春陽堂文庫 春陽堂 昭和25年4月15日

〔中期の三部作―「三四郎」「それから」「門」― 128～169頁〕〔三四郎〕 128～140頁 『夏目漱石の作品』収録 厚文社 昭和30年8月1日)

8月1日)

〔中期の三部作―「三四郎」「それから」「門」― 128～169頁〕〔三四郎〕 128～140頁 『夏目漱石の作品』収録 鷺の宮書店 昭和42年12月20日)

42年12月20日)

〔中期の三部作「三四郎」「それから」「門」 106～138頁〕〔三四郎〕

106～115頁〕『片岡良一著作集第九卷 夏目漱石と芥川龍之介』収録

中央公論社 昭和55年2月25日)

無署名 夏目漱石の項〔三四郎〕さんしろう 384～384頁 『世界文芸

辞典東洋篇』世界文芸辞典編集部 東京堂 昭和25年4月30日

〔夏目漱石「三四郎」さんしろう 392～392頁 『新訂世界文芸辞典

日本・東洋編』収録 世界文芸辞典編集部 東京堂 昭和32年8月

30日)

柴田宵曲 文学東京とところどころ 団子坂 中坂 2～2頁 『日本

古書通信』第15巻8号 復刊第39号 日本古書通信社 昭和25年

8月15日

〔団子坂 1～5頁 『文学・東京散歩』収録 古通豆本41 日本

古書通信社 昭和55年1月20日)

野上豊一郎 三四郎 さんしろう 321～321頁 『増補改訂 日本文学

大辞典第三巻』藤村作編 新潮社 昭和25年8月20日

〔三四郎 さんしろう 409～409頁 『縮約日本文学大辞典(全)』

収録 藤村作編 新潮社 昭和30年1月20日)

伊藤整 解説 521～525頁 『漱石集中巻三四郎、それから、門』新

潮社 昭和25年8月31日

西脇良三 日本の近代と漱石 31～44頁 『文化論叢』創刊号 山

口大学教育学部光分校文化研究会 昭和25年10月15日

永野爲武 漱石の「髭」と「鬚」 27～30頁 『文芸研究 季刊』

第5集 東北大学文学部日本文芸研究会 昭和25年10月15日

柴田宵曲 文学東京とところどころ 漱石山房 大川端 2～3頁

『日本古書通信』第15巻10号 復刊第41号 日本古書通信社 昭

和25年10月15日

〔漱石山房 18～22頁 『文学・東京散歩』収録 古通豆本41 日

本古書通信社 昭和55年1月20日)

伊藤整 坊つちやん 三四郎解説 275～279頁 『夏目漱石作品集第三

巻』創元社 昭和25年10月25日

熊坂敦子 漱石『明暗』の女性観について 70～83頁 『明治大正文

学研究』第4輯 東京堂 昭和25年10月30日

片岡良一 夏目漱石に於ける二三の問題 1～9頁 『文学』第18

巻11号 岩波書店 昭和25年11月10日

〔漱石における二三の問題 316～333頁 『夏目漱石の作品』収録

厚文社 昭和30年8月1日)

〔漱石における二三の問題 316～333頁 『夏目漱石の作品』収録

鷺の宮書店 昭和42年12月20日)

〔漱石における二、三の問題 250～264頁 『片岡良一著作集第九卷

夏目漱石と芥川龍之介』収録 中央公論社 昭和55年2月25日)

塩田良平 明治時代第三章近代後期第二節主知派小説1、夏目漱石

三四郎 94～101頁 『日本文学教養講座第十巻 近代小説』塩田

良平・福田清人著 至文堂 昭和25年11月15日

柴田宵曲 藻塩草 代助、三四郎 5～5頁 『日本古書通信』第

15巻12号 復刊第43号 日本古書通信社 昭和25年12月15日
(代助、三四郎 138〜138頁 『漱石覚え書』収録 日本古書通信社
昭和38年11月20日)

昭和26年(一九五二)

柴田宵曲 文学東京とどこどこ 浅草 大学図書館 2〜3頁
『日本古書通信』 第16巻1号 復刊第44号 日本古書通信社 昭
和26年1月15日

(大学図書館 54〜58頁 『文学・東京散歩』収録 古通豆本41
日本古書通信社 昭和55年1月20日)

柴田宵曲 文学東京とどこどこ 大久保 田端 2〜3頁 『日本
古書通信』 第16巻2号 復刊第45号 日本古書通信社 昭和26年
2月15日

(大久保 59〜63頁／ 田端 64〜68頁 『文学・東京散歩』収録
古通豆本41 日本古書通信社 昭和55年1月20日)

柴田宵曲 文学東京とどこどこ 上野 銀座 3〜3頁 『日本古
書通信』 第16巻3号 復刊第46号 日本古書通信社 昭和26年3
月15日

(上野 68〜73頁 『文学・東京散歩』収録 古通豆本41 日本古
書通信社 昭和55年1月20日)

瀬沼茂樹 I 三、個人主義と漱石 46〜56頁 『近代日本文学のな
りたち』 河出書房 昭和26年3月15日

(第一部自我の問題 五、個人主義と漱石 — 「明治の精神」を中
心に 62〜71頁 『近代日本文学のなりたち』収録 河出文庫 河
出書房 昭和29年7月20日)

(第一部自我の問題 五、個人主義と漱石 — 「明治の精神」を中
心に 66〜76頁 『近代日本文学のなりたち』収録 角川文庫20
88 角川書店 昭和36年8月30日)

(五、個人主義と漱石 — 「明治の精神」を中心に 86〜99頁 『近
代日本文学のなりたち』収録 アテネ新書 弘文堂書店 昭和46年
4月15日)

岡崎義恵 漱石に関する十章 小説家としての漱石 131〜155頁／ 虚
構と真実 — 小説の三系列 — 155〜160頁／ 二様の三角関係 160〜167
頁／ 二人の漱石 — 坊つちやんと赤シヤツ — 180〜190頁／ 人とし
ての漱石 216〜224頁 『鷗外と漱石』 要選書13 要書房 昭和26
年4月25日

(III 漱石論十章 小説家としての漱石 一、小説作品の全貌 346〜
369頁／ 二、虚構と真実 — 小説の三系列 — 369〜374頁／ 三、二様
の三角関係 374〜381頁／ 二人の漱石 — 坊つちやんと赤シヤツ 393
〜402頁／ 人としての漱石 429〜437頁 『岡崎義恵著作選集 森鷗
外と夏目漱石』収録 宝文館出版 昭和48年2月25日)

無署名 三四郎 175〜179頁 『日本の名著 毎日ライブラリー』 毎
日新聞社 昭和26年5月5日

(宮崎友夫 三四郎 175〜179頁 『日本の名著 毎日ライブラリー』
改定新版』収録 毎日新聞社 昭和45年11月13日)

柴田宵曲 文学東京とどこどこ 根岸 神楽坂 4〜4頁 『日本
古書通信』 第16巻5号 復刊第48号 日本古書通信社 昭和26年
5月15日

(根岸 85〜90頁／ 神楽坂 90〜95頁 『文学・東京散歩』収録
古通豆本41 日本古書通信社 昭和55年1月20日)

野田宇太郎 「三四郎」の池 24～28頁／ 観潮楼跡 15～20頁 『新

東京文学散歩』 日本読書新聞 昭和26年6月25日

(「三四郎」の池 28～30頁／ 観潮楼跡 21～24頁 『新東京文学

散歩 増補改正版』 収録 角川文庫384 角川書店 昭和27年3月15

日)

久松潜一 三四郎 さんしろう 30～30頁 『日本文学辞典』 アテ

ネ文庫171 弘文堂 昭和26年9月15日

伊藤整 解説 252～255頁 『三四郎』 創元社文庫 創元社 昭和26

年10月10日

山本健吉 解説 275～278頁 『三四郎』 角川文庫 角川書店 昭和26

年10月20日

(夏目漱石 二 『三四郎』 について 23～26頁 『青春の文学』

収録 要選書78 要書房 昭和30年4月15日)

秦一郎 漱石・鷗外・龍之介 29～42頁 『明治大正文学研究』 第

6号 東京堂 昭和26年11月30日

保坂弘司 三四郎 77～80頁 同右

片岡良一 漱石の文学上の地位 5～13頁 同右

(作家論 漱石の文学史上の地位 83～89頁 『夏目漱石全集第十

二卷 漱石研究篇』 収録 荒正人編 創芸社 昭和29年8月5日)

(漱石と自然主義 282～295頁 『夏目漱石の作品』 収録 厚文社

昭和30年8月1日)

(漱石と自然主義 282～295頁 『夏目漱石の作品』 収録 鷺の宮書

店 昭和42年12月20日)

(漱石の文学史上の地位 47～53頁 『日本文学研究資料叢書 夏

目漱石』 収録 有精堂出版 昭和45年1月25日)

(漱石と自然主義 225～235頁 『片岡良一著作集第九卷 夏目漱石

と芥川龍之介』 収録 中央公論社 昭和55年2月25日)

昭和27年(一九五二)

なかの・しげはる 鷗外について 作品研究3 青年 48～56頁

『文学』 第20巻4号 岩波書店 昭和27年4月10日

(青年について 284～302頁 『鷗外その側面』 収録 中野重治 筑

摩書房 昭和27年6月5日)

(「青年」について 213～227頁 『中野重治全集第十巻』 収録 筑

摩書房 昭和37年5月10日)

(「青年」について 216～230頁 『鷗外その側面』 収録 筑摩叢書

189 筑摩書房 昭和47年2月25日)

(鷗外その側面 「青年」のこと 321～334頁 『中野重治全集第十

六巻』 収録 筑摩書房 昭和52年7月20日)

岩永胖 第十三 夏目漱石—その近代性と封建性— 二、「三四郎」

「それから」「門」 268～277頁 『現代文学総説—明治作家篇』

藤村作監修 西尾實、近藤忠義共編 学燈社 昭和27年4月25日

稲垣達郎 自分というもの(1)—「三四郎」から「心」まで 141～151頁

『国語と文学の教室 夏目漱石』 福村書店 昭和27年5月25日

吉田精一 自然主義と漱石 5～16頁 『明治大正文学研究』 第7

号 東京堂 昭和27年6月14日

(漱石研究の課題 99～118頁 『比較文学研究—比較文学の問題と

方法 漱石の比較文学的研究』 収録 日本比較文学会編 矢島書房

昭和29年10月25日)

(漱石と自然主義 190～204頁 『漱石全集別巻漱石案内他』 収録

伊藤整・吉田精一編 角川書店 昭和36年8月25日)

(自然主義と漱石 146～157頁 「解釈と鑑賞別冊 現代のエスプリ
夏目漱石」収録 第5巻26号 江藤淳編 至文堂 昭和42年7月1
日)

(Ⅱ夏目漱石一、漱石と自然主義 157～173頁 『吉田精一著作集第
四巻 鷗外・漱石』収録 桜楓社 昭和56年3月12日)

坂本浩 則天去私について 41～48頁 「明治大正文学研究」第7号
東京堂 昭和27年6月14日

(夏目漱石と則天去私 233～246頁 『近代文学の研究態度』収録
国語国文学研究叢書15 南雲堂桜楓社 昭和35年10月25日)

景山直治 「三四郎」研究—主題と修辭— 25～30頁 「文学研究」

第9号 文学研究会 昭和27年9月10日

野田宇太郎 東京文学散歩 「三四郎」の池 「毎日新聞」夕刊 第
27408号 毎日新聞社 昭和27年9月13日 (土曜日)

(東京文学散歩 「三四郎」の池 100～100頁 『毎日新聞縮刷版』

収録 第3巻9号9月号 通巻第27号 毎日新聞社 昭和27年10月
15日)

(「三四郎」の池 33～34頁【頁数の記載なし】 『アルバム東京

文学散歩』収録 創元社 昭和29年2月10日)

角川源義 解説 336～345頁 『昭和文学全集3 寺田寅彦集』 角川

書店 昭和27年12月10日

(寺田寅彦 49～80頁 『近代文学の孤独』収録 現代文芸社 昭
和33年5月30日)

(寺田寅彦 349～366頁 『角川源義全集第三巻 古典研究Ⅲ・文学
評論』収録 角川書店 昭和63年4月8日)

昭和28年(一九五三)

井上百合子 「草枕」一試論—作品の成立をめぐる— 39～46頁
『日本女子大学紀要文学部』第2号 日本女子大学文学部 昭和
28年2月10日

塩田良平 (後篇) 作家論第二章鷗外と漱石 2 夏目漱石 167～178頁
『鷗外・漱石から現代まで』少年図書館選書4 金子書房 昭和
28年2月28日

吉田孝次郎 教科書と「三四郎」—時代的意義を中心に— 17～22頁

『日本文学』第2巻2号 日本文学協会 昭和28年3月1日
編集部 解説 258～261頁 『三四郎』三笠文庫 三笠書房 昭和28

年3月20日

伊藤整 解説 239～242頁 『現代日本名作選坊つちゃん・三四郎 夏
目漱石』筑摩書房 昭和28年4月15日

片岡良一 「三四郎」について 285～297頁 『夏目漱石作品全集第六
巻 三四郎』近代文庫66 創芸社 昭和28年4月20日

久保田万太郎・舟橋聖一・永井龍男・河盛好蔵 座談会『東京』とい
う名の都会 50～59頁 『文芸』第10巻5号 河出書房 昭和28

年5月1日

中村真一郎 解説 511～522頁 (「吾輩は猫である」『坊つちゃん』
「それから」所収) 『現代文豪名作全集5夏目漱石集』中村真

一郎編 河出書房 昭和28年5月10日

亀井勝一郎 解説 393～396頁 『夏目漱石全集第三巻三四郎 それか
ら 門 思ひ思す事など 永日小品』創芸社 昭和28年7月31日

(解説 夏目漱石全集第三巻 194～199頁 『亀井勝一郎全集補巻一』
収録 講談社 昭和48年4月16日)

片岡良一 漱石と鷗外 17～19頁 「国文学解釈と鑑賞」 第18巻8号 至文堂 昭和28年8月1日

柴田宵曲 「藻塩草」 2～2頁 「日本古書通信」 第18巻14号

復刊第113号 日本古書通信社 昭和28年9月15日

(三四郎 137～138頁 『漱石覚え書』 収録 日本古書通信社 昭和

38年11月20日)

臼井吉見 三四郎解説 255～259頁 『夏目漱石文庫5三四郎』 中公

文庫 中央公論社 昭和28年9月25日

荒正人 漱石文学の物質的基礎 34～50頁 「文学」 第21巻10号10

月号 岩波書店 昭和28年10月10日

(作家論 漱石文学の物質的基礎 106～121頁 『夏目漱石全集第十

二巻 漱石研究篇』 収録 荒正人編 創芸社 昭和29年8月5日)

(第三章 漱石文学の物質的基礎 237～268頁 『評伝夏目漱石』 収

録 実業之日本社 昭和35年7月20日)

(第三章 漱石文学の物質的基礎 237～268頁 『作品と作家研究

評伝夏目漱石 増補新版』 収録 実業之日本社 昭和42年12月15日)

内田百閒 「三四郎」「彼岸過迄」「幻影の盾」 解説 1～4頁 (387～

390頁) 『夏目漱石小説全集第三巻』 春陽堂書店 昭和28年10月10

日

野田宇太郎 鷗外の「青年」とその時代 9～25頁 『青春の季節』

河出新書 河出書房 昭和28年11月5日

(「スバル」群像 鷗外「青年」とその時代 163～174頁 『瓦斯燈

文芸考』 収録 東峰書院 昭和36年6月15日)

(第二部パンの会の周辺 鷗外の「青年」とその時代 416～427頁

『日本耽美派文学の誕生』 収録 河出書房新社 昭和50年11月28日)

片岡良一 解説 435～439頁 (坊っちゃん 草枕 三四郎 それから
こころ 夢十夜所収) 『昭和文学全集別冊 夏目漱石集』 角川

書店 昭和28年11月25日

福原麟太郎 解説 171～176頁 『私の個人主義』 創元文庫 創元社

昭和28年11月30日

(個人主義解説 139～145頁 『愚者の知恵』 収録 新潮社 昭和32

年6月20日)

(文学の世界 個人主義解説 97～104頁 『夏目漱石』 収録 荒竹

出版 昭和48年9月25日)

荒正人 漱石の暗い部分 48～62頁 「近代文学」 第8巻11号 近

代文学社 昭和28年12月1日

(漱石の暗い部分 12～16頁 「夏目漱石全集第4巻月報 漱石山

房 第7号」 収録 創芸社 昭和29年1月25日)

(漱石の暗い部分(二) 10～16頁 「夏目漱石全集第8巻月報 漱

石山房 第8号」 収録 創芸社 昭和29年2月28日)

(漱石の暗い部分(三) 12～16頁 「夏目漱石全集第9巻月報 漱

石山房 第9号」 収録 創芸社 昭和29年3月31日)

(漱石の暗い部分 61～74頁 『日本文学研究資料叢書夏目漱石』

収録 有精堂 昭和45年1月25日)

昭和29年(一九五四)

野田宇太郎 続九州文学散歩(13) 豊津(一) 『三四郎の故郷』 文化欄

『西日本新聞』 朝刊 第25323号 西日本新聞社 昭和29年1

月18日(月曜日)

(豊津「三四郎」の故郷 35～37頁 『続九州文学散歩』 収録 創

元社 昭和29年5月31日)

(豊津「三四郎」の故郷 215～227頁 『九州文学散歩』収録 角川文庫 角川書店 昭和30年10月10日)

荒正人 漱石と鷗外 179～221頁 『岩波講座文学第四卷 国民の文学

(二)近代篇(1)』猪野謙二他編 岩波書店 昭和29年1月30日

(漱石・鷗外・龍之介 112～151頁 『現代知性全集(37) 荒正人集』

収録 日本書房 昭和35年3月25日 なお芥川龍之介への言及は

『岩波講座文学第五卷 国民の文学(二)近代篇(2)』芥川龍之介

81～96頁 昭和29年2月27日による)

(漱石・鷗外・竜之介 130～159頁 『新選現代日本文学全集38 平野

謙 荒正人 高橋義孝 小田切秀雄集』収録 筑摩書房 昭和35年

7月15日)

(漱石・鷗外・龍之介 220～276頁 『荒正人著作集第三卷 市民文

学論』収録 三一書房 昭和59年4月30日)

川副国基 さんしろう『三四郎』219～219頁 『日本文学辞典』西

尾實・久松潜一編 学生社 昭和29年3月1日

鈴木清太郎 漱石遠景 9～12頁 『夏目漱石全集第9巻月報 漱石

山房 第9号』創芸社 昭和29年3月31日

坂本浩 漱石・鷗外の位置 55～63頁 『文学』第22巻4号 岩波

書店 昭和29年4月10日

(漱石・鷗外の位置 213～232頁 『近代文学の研究態度』収録 国

語国文学研究叢書15 南雲堂桜楓社 昭和35年10月25日)

山室静 漱石の『それから』と『門』 1～14頁 『近代文学』第

9巻5号5月号 近代文学社 昭和29年5月1日

(作品論 漱石の『それから』と『門』 171～183頁 『夏目漱石全

集第十二巻 漱石研究篇』収録 荒正人編 創芸社 昭和29年8月

5日) (漱石の『それから』と『門』 185～198頁 『日本文学研究資料叢

書 夏目漱石』収録 有精堂出版 昭和45年1月25日)

福田清人 本郷・上野 138～143頁 / 山の手とところどころ 149～151頁

/ 伊豆地方 192～192頁 / 名古屋 222～224頁 『日本近代文学紀

行東部篇』一時間文庫 新潮社 昭和29年5月5日

吉田孝次郎 漱石三部作の世界 62～69頁 『文学』第22巻5号

岩波書店 昭和29年5月10日

荒正人 夏目漱石 546～550頁 『三四郎』さんしろう 548～548頁 『近

代日本文学辞典』久松潜一・吉田精一編 東京堂出版 昭和29年

5月30日

佐古純一郎 漱石の文学における人間の運命(二) II 愛の破綻 28～

33頁 『共助』6月号 基督教共助会出版部 昭和29年6月1日

(II 愛の破綻 23～36頁 『漱石の文学における人間の運命』マタ

イ伝一六章二六節の講解』収録 一古堂書店 昭和30年2月10日)

(第一部漱石の文学における人間の運命 第2章愛の破綻 21～33

頁 『近代日本文学の悲劇』収録 現代文芸社 昭和33年12月15日)

(漱石の文学における人間の運命 第2章愛の破綻 16～24頁 『佐

古純一郎著作集第6巻』収録 春秋社 昭和35年7月20日)

(第一部漱石の文学における人間の運命 第2章愛の破綻 21～31

頁 『近代日本文学の倫理的探究 新装版』収録 審美社 昭和52

年4月10日)

(第一部漱石の文学における人間の運命 第2章愛の破綻 21～31

頁 『夏目漱石論』収録 審美社 昭和53年4月28日)

(第一部漱石の文学における人間の運命 第2章愛の破綻 20～32

頁 『漱石論究』収録 朝文社 平成2年5月25日)

野田宇太郎 9 「三四郎」の池(漱石) 19～19頁 『東京文学散歩
の手帖』 的場書房 昭和29年6月27日

(9 「三四郎」の池(漱石) 19～19頁 『東京文学散歩の手帖
一九五五年版』収録 学風書院 昭和30年9月5日)

中村真一郎 解説―覚書風に 254～257頁 『三四郎』 河出書房文庫
河出書房 昭和29年6月30日

(『三四郎』 65～69頁 『近代文学への疑問』収録 勁草書房
昭和45年7月10日)

(『三四郎』 118～122頁 『明治作家論』収録 構想社 昭和53年
4月25日)

山本健吉 『三四郎』小説に現われた青春像(八) 154～157頁 「芸文」
第11巻7号 河出書房 昭和29年7月1日

(『三四郎』―夏目漱石作 73～82頁 『小説に描かれた青春像』
収録 河出書房 昭和32年1月31日)

(『三四郎』―夏目漱石作 296～301頁 『山本健吉全集第13巻』収
録 講談社 昭和59年3月20日)

福田清人 鷗外と小倉 129～131頁 『日本近代文学紀行西部篇』一
時間文庫 新潮社 昭和29年7月5日

太田文平 自作品に現われた寺田寅彦の生涯 連載第四回 五、大学
時代 六、大学院時代 44～52頁 「電機」 1954年7月号 第
73号 日本電機工業会 昭和29年7月25日

(自作品に現われた寺田寅彦の生涯 第六章 大学院時代 76～85
頁 『寺田寅彦の生涯』収録 四季新書 四季社 昭和30年3月15

日)

(第二部 自作品に現われた寺田寅彦の生涯 大学院時代 220～227
頁 『寺田寅彦―その世界と人間像』収録 都市出版社 昭和46
年5月20日)

福原麟太郎 漱石についての私見 427～427頁 「英語青年」 第100巻
8号8月号 総号第1266号 研究社出版 昭和29年8月1日

(漱石についての私見 136～139頁 『愚者の知恵』収録 新潮社
昭和32年6月20日)

(文学の世界 漱石についての私見 92～96頁 『夏目漱石』収録
荒竹出版 昭和48年9月25日)

(Ⅱ 漱石についての私見 94～98頁 『福原麟太郎随想全集第4
巻 学問のすがた』収録 福武書店 昭和57年5月15日)

福田清人 三四郎(夏目漱石) 55～65頁 『名作モデル物語』朝
日文化手帖37 朝日新聞社 昭和29年10月1日

猪野謙二 夏目漱石 636～647頁 『日本文学史辞典』近藤忠義編
日本評論社 昭和29年10月30日

長谷川泉 三四郎(夏目漱石)―現代文の鑑賞・その18― 68～80頁
『国文学解釈と鑑賞』 第19巻11号 至文堂 昭和29年11月1日

(夏目漱石 三四郎 186～199頁 『近代名作鑑賞 初版』収録 至
文堂 昭和33年6月15日)

(夏目漱石 三四郎 186～199頁 『近代名作鑑賞 再版』収録 至
文堂 昭和35年8月25日)

(夏目漱石 三四郎 186～199頁 『近代名作鑑賞 第三版』収録
至文堂 昭和38年5月15日)

(夏目漱石 三四郎 186～199頁 『新編近代名作鑑賞 第四版』収

録 至文堂 昭和42年5月30日)

(夏目漱石 三四郎 186～199頁 『新編近代名作鑑賞 三契機説鑑賞法70則の実例 第五版』収録 至文堂 昭和43年6月15日)

無署名 夏目漱石 58～61頁 『角川写真文庫1 明治の作家』 塩

田良平監修 角川書店 昭和29年11月15日

猪野謙二 日本文学の鑑賞のために―藤村と漱石を中心に―二、漱石の『それから』をめぐって 16～39頁 『岩波講座文学の創造と鑑賞第一巻 文学の鑑賞(1)』 竹内好他編 岩波書店 昭和29年11月

29日
(漱石の『それから』 169～197頁 『日本文学の近代と現代』収録 未来社 昭和33年11月15日)

(『それから』の思想と方法 105～130頁 『明治の作家』収録 岩波書店 昭和41年11月30日)

(夏目漱石集Ⅲ解説―「三四郎」「それから」―「それから」について 28～41頁 『日本近代文学大系第26巻夏目漱石集Ⅲ』収録 角川書店 昭和47年2月10日)

(「三四郎」と「それから」―「認識者」の文学・その成立への道程―「それから」について 103～122頁 『日本文学の遠近Ⅰ』収録 未来社 昭和52年7月15日)

荒正人 芸術家・漱石を求めて 142～151頁 「群像」 第9巻13号12月号 大日本雄弁会講談社 昭和29年12月1日

木下順二 一つの感想 5～6頁 『現代日本文学全集11夏目漱石集月報22』 筑摩書房 昭和29年12月5日

(一つの感想 219～220頁 『増補決定版日本文学全集100 月報合本』収録 筑摩書房 昭和50年3月20日)

昭和30年(一九五五)

渡川驍 夏目漱石と帝国図書館 34～37頁 「読書春秋」 第6巻1月号 国立国会図書館内春秋会 昭和30年1月1日

長谷川泉 鷗外と漱石の小説 41～60頁 『日本文学講座第5巻 日本の小説Ⅱ』 日本文学協会編 東京大学出版会 昭和30年2月10日

坂本浩 第二部実地篇(小説) 十一、三四郎 夏目漱石 258～282頁 『現代文の教え方―中学高校の先生のために―』 至文堂 昭和30年4月25日

無署名 本郷上野小石川 2～19頁 『角川写真文庫 東京文学散歩山の手篇』 野田宇太郎監修 角川書店 昭和30年6月10日

片岡良一 あとがきに添えて 研究ノート『三四郎』 337～338頁 『夏目漱石の作品』 厚文社 昭和30年8月1日

(あとがきに添えて 研究ノート『三四郎』 337～338頁 『夏目漱石の作品』収録 鷺の宮書店 昭和42年12月20日)

(あとがきに添えて 研究ノート『三四郎』 267～267頁 『片岡良一著作集第九巻 夏目漱石と芥川龍之介』収録 中央公論社 昭和55年2月25日)

無署名 『日本映画紹介』三四郎 60～61頁、70～71頁 「キネマ旬報」 8月下旬号 第126号 通巻941号 キネマ旬報社 昭和30年8月15日

内田百閒 三四郎解説 211～212頁 『三四郎 夏目漱石』 春陽堂文庫 春陽堂書店 昭和30年8月30日

無署名 明治時代五 反自然主義Ⅰ 森鷗外と夏目漱石 100～111頁 『文学五十年』 片岡良一・中島健蔵監修 荒正人・太田三郎・村

昭和30年(一九五五)

片岡良一 あとがきに添えて 研究ノート『三四郎』 267～267頁 『片岡良一著作集第九巻 夏目漱石と芥川龍之介』収録 中央公論社 昭和55年2月25日)

無署名 『日本映画紹介』三四郎 60～61頁、70～71頁 「キネマ旬報」 8月下旬号 第126号 通巻941号 キネマ旬報社 昭和30年8月15日

内田百閒 三四郎解説 211～212頁 『三四郎 夏目漱石』 春陽堂文庫 春陽堂書店 昭和30年8月30日

無署名 明治時代五 反自然主義Ⅰ 森鷗外と夏目漱石 100～111頁 『文学五十年』 片岡良一・中島健蔵監修 荒正人・太田三郎・村

松定孝編 時事通信社 昭和30年9月10日

十返肇 映画化された漱石文学「三四郎」と「こころ」について―

82～83頁 「キネマ旬報」 10月上旬号 第129号 通巻94号 キネ

マ旬報社 昭和30年10月1日

近田千造 日本映画批評 三四郎 117～117頁 同右

本多顕彰 夏目漱石論 173～189頁 『明治の作家たちⅡ 現代作家論

叢書(2)』中島健蔵・伊藤整・小田切秀雄・荒正人編 英宝社 昭和

30年10月20日

稲垣達郎 《動向》最近の明治文学映画 94～98頁 「文学」 第23

巻11号 岩波書店 昭和30年11月10日

(数種の明治文学映画 511～518頁 『稲垣達郎学芸文集二』収録

筑摩書房 昭和57年4月20日)

久野眞吉 漱石文学における女性像の展開 166～193頁 「宮城学院女

子大学研究論文集」 第8号 宮城学院女子大学文化学会 昭和30

年11月15日

伊藤整 解説 471～476頁 『日本文学全集第22巻 漱石名作集』

河出書房 昭和30年11月25日

江藤淳 夏目漱石論(下)―漱石の位置について―四・五 32～52頁

「三田文学」 第45巻12号12月号 三田文学会 昭和30年12月1

日

(第八章神の不在と文明批評的典型 83～94頁 『夏目漱石』収録

東京ライフ社 昭和31年11月25日)

(第八章神の不在と文明批評的典型 92～103頁 『夏目漱石』収録

ミリオンブックス 学芸評論 昭和35年2月10日)

(第八章神の不在と文明批評的典型 86～98頁 『夏目漱石 増補

版』収録 勤草書房 昭和40年6月10日)

(第一部漱石の位置について 第八章神の不在と文明批評的典型

51～58頁 『江藤淳著作集1 漱石論』収録 講談社 昭和42年7

月28日)

(第一部漱石の位置について 第八章神の不在と文明批評的典型

80～90頁 『夏目漱石』収録 講談社文庫 講談社 昭和46年7月

1日)

(第一部漱石の位置について 第八章神の不在と文明批評的典型

70～79頁 『決定版夏目漱石』収録 新潮社 昭和49年11月25日)

(第一部漱石の位置について 第八章神の不在と文明批評的典型

79～89頁 『決定版夏目漱石』収録 新潮文庫 新潮社 昭和54年

7月25日)

(Ⅰ夏目漱石 第一部漱石の位置について 第八章神の不在と文明

批評的典型 53～60頁 『新編江藤淳文学集成Ⅰ 夏目漱石論集』

収録 河出書房新社 昭和59年11月30日)

稲垣達郎 第一序編 一、鷗外の生涯 7 文壇再帰 28～37頁 『森

鷗外』学燈文庫 学燈社 昭和30年12月15日

昭和31年(一九五六)

平野謙 暗い漱石(一) 125～134頁 「群像」 第11巻1号 大日本雄弁会

講談社 昭和31年1月1日

暗い漱石(二) 81～93頁 「群像」 第11巻2号 大日本雄弁会講談社

昭和31年2月1日

(夏目漱石 201～245頁 『芸術と実生活』収録 大日本雄弁会講談

社 昭和33年1月15日)

〔夏目漱石Ⅰ 190～230頁〕『芸術と実生活』収録 講談社ミリオンの
ボックス 大日本雄弁会講談社 昭和33年11月30日)

〔夏目漱石Ⅰ 215～254頁〕『芸術と実生活』収録 新潮文庫 新潮
社 昭和39年4月5日)

〔夏目漱石 275～301頁〕『平野謙全集第二巻』収録 新潮社 昭和
50年2月25日)

柴田宵曲 藻塩草 巴里の鯉節 6～7頁 「日本古書通信」 第21

巻1号 通号318号 復刊141号 日本古書通信社 昭和31年1月15日

〔巴里の鯉節 37～38頁〕『漱石覚え書』収録 日本古書通信社

昭和38年11月20日)

木村毅 名作小説とモデル 五、漱石の「坊っちゃん」―明治三十年

代― 227～228頁 『青年の夢』 洋々社 昭和31年1月20日

無署名 三四郎 さんしろう 〔三四郎・夏目漱石〕 271～271頁 『日

本文学作品人名辞典』吉田精一・市古貞次・三谷栄一編 河出書房

昭和31年2月15日

井上百合子 『それから』の位相 9～13頁 「日本女子大学紀要文学

部」 第5号 日本女子大学文学部 昭和31年2月

〔『それから』の位相 234～244頁〕『夏目漱石試論―近代文学ノート』

収録 河出書房新社 平成2年4月20日)

桑原三郎 三重吉研究ノート(5) 漱石の教訓(25歳～27歳) 114～116

頁 「新文明」 第6巻3号3月号 「新文明」発行所 昭和31年

3月1日

今井文男 迷える羊―『三四郎』における一つの表現分析 23～25

頁 「金城国文」 第2巻4号 金城学院大学国文学会 昭和31年3

月13日

樋田満文 本郷・湯島 145～152頁 『文学東京案内』 樋田満文編著

緑地社 昭和31年3月20日

景山直治 「ペーコンの二十三頁」―漱石のいたずらについて 20～

22頁 「解釈」 第2巻5号 解釈学会 昭和31年5月1日

〔「ペーコンの二十三頁」―漱石のいたずらについて 13～14頁〕シ

リーズ文学④夏目漱石森鷗外の文学』収録 解釈学会編 教育出版

センター 昭和48年3月20日)

無署名 小説三四郎 夏目漱石 36～37頁 『日本の名著』 角川新

書79 角川書店編 角川書店 昭和31年5月20日

時野谷勝 三四郎 さんしろう 30～31頁 『日本名著辞典』 アテ

ネ文庫283 弘文堂 昭和31年6月20日

小宮豊隆 解説 243～252頁 『漱石全集第七巻 三四郎』 新書版

岩波書店 昭和31年6月27日

大竹新助 本の中にある風景⑧ 夏目漱石『三四郎』 「図書新聞」

第356号 図書新聞社 昭和31年7月14日(土曜日)

〔夏目漱石『三四郎』 18～19頁〕『写真・文学散歩―本の中にあ

る風景』収録 現代教養文庫181 社会思想研究会出版部 昭和32

年9月15日)

大島田人 「三四郎の注釈」―「データファブラ」と「ハイドリオ

タフヒア」―1～3頁 「解釈」 第2巻8号 解釈学会 昭和

31年8月1日

〔「三四郎の注釈」―「データファブラ」と「ハイドリオタフヒア」

― 16～18頁〕『シリーズ文学④夏目漱石森鷗外の文学』収録 解

釈学会編 教育出版センター 昭和48年3月20日)

塩谷賛 作品解題「三四郎」 222～224頁 『新版夏目漱石作品集別巻

夏目漱石事典』 東京創元社 昭和31年8月31日

景山直治 漱石文学の解釈法―「三四郎」を例として― 1〜2頁

「解釈」 第2巻9号 解釈学会 昭和31年9月1日

(漱石文学の解釈法―「三四郎」を例として― 19〜20頁 『シリーズ

ズ文学④夏目漱石森鷗外の文学』収録 解釈学会編 教育出版セン

ター 昭和48年3月20日)

稲垣達郎 鷗外の現代小説について 20〜26頁 「国文学解釈と教材

の研究」 第1巻4号10月号 学燈社 昭和31年9月20日

(鷗外の現代小説 311〜321頁 『稲垣達郎学芸文集二』収録 筑摩

書房 昭和57年4月20日)

福原麟太郎 随想 三四郎日和 「読売新聞」夕刊 第28679号

読売新聞社 昭和31年9月22日(土曜日)

(三四郎日和 108〜109頁 『中流人の幸福』収録 角川新書 角川

書店 昭和32年1月30日)

(三四郎日和 102〜103頁 『天才について』収録 毎日新聞社 昭

和47年5月5日)

(三四郎日和 177〜179頁 『夏目漱石』収録 荒竹出版 昭和48年

9月25日)

太田三郎 漱石「倫敦塔」の構成 28〜35頁 「SYLVAN(シルヴァ

ン)」英米文学研究誌 第2号 シルヴァン同人会 昭和31年10月

20日

長谷川泉 三四郎 27〜33頁 「国文学解釈と鑑賞」 第21巻12号

至文堂 昭和31年12月1日

吉田精一 漱石と鷗外―「三四郎」と「青年」を中心に― 8〜

12頁 同右

(Ⅲ鷗外と漱石―漱石と鷗外―「三四郎」と「青年」を中心にし
て― 335〜343頁 『吉田精一著作集第四巻 鷗外・漱石』収録 桜

楓社 昭和56年3月12日)

塩田良平 孤独の発生―三四郎・それから・門― 23〜27頁 「国文

学解釈と鑑賞」 第21巻12号 至文堂 昭和31年12月1日

(「三四郎」『それから』『門』―孤独の発生 39〜47頁 『夏目漱

石研究 作家研究叢書』収録 伊藤整編 新潮社 昭和33年6月5

日)

成瀬正勝 漱石の初期作品について 9〜14頁 「国文学解釈と教材

の研究」 第1巻6号12月号 学燈社 昭和31年12月20日

片岡良一 漱石の中期作品について 15〜22頁 同右

小林英夫 漱石の文体について 46〜54頁 同右

小田島哲哉 三四郎 72〜75頁 同右

岡崎義恵 漱石の作風の展開 2〜8頁 同右

(漱石の作風の展開 357〜370頁 『岡崎義恵著作集9 近代日本の

小説』収録 宝文館出版 昭和34年6月20日)

八田尚之(脚色) 『夏目漱石の三四郎』 1〜99頁 東宝シナリオ

選集 昭和30年制作 配給東宝 発行年月日記載なし

昭和32年(一九五七)

清水茂 二葉亭・漱石・鷗外―『煤煙』事件をめぐって(上) 22〜28

頁、52〜52頁 「日本文学」 第6巻3号 日本文学協会編 未来

社 昭和32年3月1日

二葉亭・漱石・鷗外―『煤煙』事件をめぐって(中) 11〜17頁 「日

本文学」 第6巻4号 日本文学協会編 未来社 昭和32年4月1

日)

日

年7月15日)

二葉亭・漱石・鷗外―『煤煙』事件をめぐる(下) 57～65頁 「日本文学」 第6巻5号 日本文学協会編 未来社 昭和32年6月1日

(第四章漱石の文学 269～331頁 『評伝夏目漱石』収録 実業之日本社 昭和35年7月20日)

柴田宵曲 藻塩草 兄妹の画 4～4頁 「日本古書通信」 第22巻

(荒正人集 夏目漱石論 175～200頁 『日本現代文学全集97平野謙・本多秋五・荒正人・佐々木基一・小田切秀雄集』収録 講談社 昭和40年6月19日)

5号 通号334号 復刊第157号 日本古書通信社 昭和32年5月15日

(第四章漱石の文学 269～331頁 『評伝夏目漱石 作品と作家研究増補新版』収録 実業之日本社 昭和42年12月15日)

(兄妹の画 77～78頁 『漱石覚え書』収録 日本古書通信社 昭和38年11月20日)

(夏目漱石の文学 69～129頁 『10冊の本6 近代の文学』収録 井上靖・臼井吉見編 主婦の友社 昭和44年2月5日)

佐佐木一雄 自然主義と対立する一派―漱石・子規・三重吉その他―夏目漱石(金之助) 101～108頁 『近代小説史』 寧楽書房 昭和32年7月10日

(荒正人集 夏目漱石の文学 224～250頁 『現代日本文学大系79本多秋五・平野謙・荒正人・埴谷雄高・小田切秀雄集』収録 筑摩書房 昭和47年6月20日)

山本健吉・中村光夫・平林たい子・梅崎春生 鷗外と漱石 文学ゼミ

(荒正人集 夏目漱石論 105～129頁 『増補決定版現代日本文学全集補巻36平野謙・荒正人・高橋義孝・小田切秀雄集』収録 筑摩書房)

ナール第8回 286～293頁 「婦人公論」 第42巻8号 中央公論社

熊坂敦子 漱石と自然主義 32～40頁 「日本女子大学紀要文学部」

昭和32年8月1日

第7号 日本女子大学文学部 昭和32年12月20日

成瀬正勝 夏目漱石の場合 三部作 75～76頁 『近代日本文学史』

角川全書26 成瀬正勝編 角川書店 昭和32年10月20日

荒正人 漱石の生涯 最盛期時代 51～59頁 / 漱石の作品 三四

郎 142～143頁 / それから 143～144頁 / 門 144～145頁 / ここ

ろ・道草 149～173頁 『現代作家論全集第三巻 夏目漱石』 五月

書房 昭和32年12月15日

昭和33年(一九五八)

漱石の文学 86～133頁 同右

高橋恵子 「三四郎」における美禰子 47～53頁 「ふじ」 第7号

(漱石文学の魅力 233～246頁 『近代文学鑑賞講座第5巻 夏目漱石』収録 伊藤整編 角川書店 昭和33年8月5日)

藤女子短期大学 昭和33年3月1日

(荒正人集 夏目漱石論 105～129頁 『新選現代日本文学全集38平野謙・荒正人・高橋義孝・小田切秀雄集』収録 筑摩書房 昭和35

井上百合子 第七章 漱石と理想主義 123～142頁 『近代日本文学史論』 成瀬正勝・吉田精一監修 矢島書房 昭和33年4月20日

野謙・荒正人・高橋義孝・小田切秀雄集』収録 筑摩書房 昭和35

(漱石と理想主義 172～194頁 『夏目漱石試論―近代文学ノート』

収録 河出書房新社 平成2年4月20日)

臼井吉見 解説 415～420頁 (『三四郎』について 415～416頁) 『現

代日本文学全集65夏目漱石集(三)』(草枕 三四郎 門 行人 ス
キストと厭世文学所収) 筑摩書房 昭和33年4月20日

無署名 三四郎(さんしろう) 72～72頁 『岩波小辞典日本文学―

近代―』 片岡良一編 岩波書店 昭和33年6月10日

熊坂敦子 「三四郎」の世界 「国語」二、第九單元 70～75頁 「国

語通信」 第6号 特集小説学習 日本書院 昭和33年6月10日

岡林清水 夏目漱石研究―漱石の写実主義について― 17～24頁

「高知大学教育学部研究報告」 第10号 高知大学教育学部 昭和

33年6月30日

福田清人 「三四郎」 301～302頁 / 花と女 302～306頁 / ^{スレイン}迷羊

306～311頁 / 「それから」 311～311頁 『夏目漱石読本 その生涯

と作品』 福田清人編 学習研究社 昭和33年7月20日

(『三四郎』 301～302頁 / 花と女 302～306頁 / ^{スレイン}迷羊 306～311

頁 / 「それから」 311～311頁 『夏目漱石の人と作品』収録 福

田清人編 学習研究社 昭和39年7月10日)

伊藤整 本文および作品鑑賞 三四郎 102～121頁 『近代文学鑑賞講

座第5巻 夏目漱石』 伊藤整編 角川書店 昭和33年8月5日

吉田精一 漱石文学の出版 352～356頁 同右

長谷川泉 漱石文学の背景 328～341頁 同右

(漱石文学の背景 268～284頁 『近代日本文学の展望』収録 至文

堂 昭和35年2月10日)

本田司 『文学作品に於ける構成の問題』―シエークスピア劇と夏目

漱石の作品― 65～88頁 「八幡大学論集」 第9巻1号 八幡大

学法経学会 昭和33年10月15日

福原麟太郎 英語教師の挑戦―わが豊かな「天賦の職」に悔いなし―

116～121頁 「別冊文芸春秋」 第66号 文芸春秋新社 昭和33年10

月27日

(人間 英語教師の挑戦 170～182頁 『本棚の前の椅子』収録 文

芸春秋新社 昭和34年5月25日)

(本棚の前の椅子 英語教師の挑戦 350～363頁 『福原麟太郎著作

集5 随筆I旅・人』収録 研究社出版 昭和43年10月25日)

(文学の世界 英語教師の挑戦 105～119頁 『夏目漱石』収録 荒

竹出版 昭和48年9月25日)

長谷川泉 鷗外と漱石 280～299頁 『近代日本文学―鑑賞から研究へ

―』 明治書院 昭和33年10月30日

昭和34年(一九五九)

無署名 三四郎(夏目漱石) 36～37頁 「国文学解釈と鑑賞 近代

名作モデル事典」第24巻4号 至文堂 昭和34年3月5日

井上百合子 夏目漱石と英文学 71～75頁 「国文学解釈と教材の研

究」 第4巻5号4月号 学燈社 昭和34年3月20日

(漱石と英文学 65～73頁 『夏目漱石試論―近代文学ノート』収

録 河出書房新社 平成2年4月20日)

吉田精一 解説 347～354頁 『森鷗外全集第二巻』 筑摩書房 昭和

34年4月15日

(解説 347～354頁 『森鷗外全集第二巻』収録 筑摩全集類聚 筑

摩書房 昭和46年5月5日)

熊坂敦子 夏目漱石『三四郎』の三四郎と美禰子 56～61頁 「国文

学解釈と教材の研究」 第4巻6号5月号 学燈社 昭和34年4月

20日

稲垣達郎 森鷗外『青年』の小泉純一 62～66頁 同右

柴田宵曲 「藻塩草」飛行機 4～5頁 「日本古書通信」 第24巻

5号 通巻38号 復刊第181号 日本古書通信社 昭和34年5月15日

福田清人 近代小説に描かれた人間像 第一節青春像 210～220頁

『近代の日本文学史』 春歩堂 昭和34年11月5日

岩上順一 理想と現実の文学 文鳥 82～84頁／三四郎 88～103頁

／ 永日小品 104～109頁／ それから 110～122頁／ 門 123～134頁

／ 漱石文学の頂点 彼岸過迄 136～149頁／ 明暗 199～221頁

『漱石入門』 中央公論社 昭和34年12月8日

昭和35年(一九六〇)

熊坂敦子 三四郎(夏目漱石) 145～147頁 『近代文学名作モデル事

典』 吉田精一編 至文堂 昭和35年1月

瀬沼茂樹 三四郎(一九〇八) 236～237頁 『世界名著大事典第4巻

コーサン』 平凡社 昭和35年2月29日

(三四郎(一九〇八) 236～237頁 『世界名著大事典第4巻コーサ

ン オリジナル新版』収録 平凡社 昭和62年6月30日)

瀬沼茂樹 三四郎(一九〇八) 567～568頁 『日本名著大事典第2巻』

平凡社 昭和35年4月28日

小松伸六(解説)／ 細江英公(撮影) ロマンへのいざない 夏目

漱石作 三四郎 101～106頁 「若い女性」 第6巻6号 講談社

昭和35年5月1日

山本健吉 三四郎の初恋と失恋……名作「三四郎」はこうして生れた

108～110頁 同右

添田知道 三四郎 189～212頁 『縮冊日本文学全集第7巻近代・後期

小説篇』 塩田良平・福田清人編 日本週報社 昭和35年6月1日

福田清人 近代後期小説篇解説 457～471頁 同右

安藤美登里 夏目漱石評伝―近代文学研究叢書資料二百五十八篇

四、文学活動 5、三四郎・それから・門 45～46頁 「学苑」

第243号 昭和女子大学光葉会 昭和35年6月1日

(三、業績 八、長篇小説 60～66頁 『近代文学研究叢書第17巻

夏目漱石・塚原澁柿園・三富朽葉・佐々醒雪・プレイフェア』収録

人見圓吉著 昭和女子大学光葉会 昭和36年8月20日)

吉田精一 解説 391～393頁／ 注釈 三四郎 394～413頁 『漱石全集

第六巻 三四郎他』 伊藤整・吉田精一編 角川書店 昭和35年6

月25日

(解説 376～378頁／ 注釈 三四郎 392～411頁 『夏目漱石全集第

六巻 三四郎他』収録 江藤淳・吉田精一編 角川書店 昭和48年

10月15日)

作品論 377～390頁 『漱石全集第六巻 三四郎他』 伊藤整・吉田

精一編 角川書店 昭和35年6月25日

(四、作品論「三四郎」 195～208頁 『吉田精一著作集第四巻 鷗

外・漱石』収録 桜楓社 昭和56年3月12日)

井上百合子 三四郎 289～290頁 『日本文学鑑賞辞典近代編』 吉田

精一編 東京堂 昭和35年6月30日

瀬沼茂樹 図書館にて 7～12頁／ 三つの世界 12～20頁／ 今の

青年と昔の青年 20～28頁／ 新しい女性 28～34頁 『人生論読

本第1巻 夏目漱石』 角川書店 昭和35年7月10日

無署名 夏目漱石 435～440頁 (三四郎 436～438頁) 『日本文学史の

指導と実際』 麻生磯次他監修 明治書院 昭和35年7月10日

森本直宏 「三四郎」 13～17頁 「学生の読書(Ⅰ)―夏目漱石研究」

土曜会 昭和35年7月15日

岡本幸子 「三四郎」 18～18頁 同右

荒正人 作品論『三四郎』 126～129頁／『それから』 130～132頁

『評伝夏目漱石』 実業之日本社 昭和35年7月20日

(作品論『三四郎』 126～129頁／『それから』 130～132頁 『作

品と作家研究 評伝夏目漱石 増補新版』収録 実業之日本社 昭

和42年12月15日)

塩田良平 三四郎 夏目漱石 130～137頁 『作品対照近代文学史』

武蔵野書院 昭和35年8月20日

昭和36年(一九六一)

中村真一郎 女が描けるかどうか、又、どのように描けるかというこ

となど…… 160～167頁 「群像」 第16巻3号 講談社 昭和36年

3月1日

(女が描けるかどうか、また、どのように描けるかということなど

…… 35～49頁 『近代文学への疑問』収録 勤草書房 昭和45年

7月10日)

(女が描けるかどうか、また、どのように描けるのかということな

ど…… 353～368頁 『中村真一郎評論集成1』収録 岩波書店 昭

和59年6月18日)

角川源義 I寅彦の青春時代 青春の贅沢『三四郎』の世界 17～

19頁／II寅彦の孤独 漱石の『則天去私』と寅彦 寅彦の苦悩

63～65頁 『人生論読本第12巻寺田寅彦』 角川源義編 角川書店

昭和36年3月10日

吉田精一 解説 523～532頁 『世界名作全集28 坊つちやん 草枕

三四郎 こゝろ』 筑摩書房 昭和36年3月15日

柴田宵曲 藻塩草 女の顔 4～5頁 「日本古書通信」 第26巻3

号 通巻380号 復刊第203号 日本古書通信社 昭和36年3月15日

(女の顔 143～144頁 『漱石覚え書』収録 日本古書通信社 昭和

38年11月20日)

中村光夫 作品解説 477～481頁 『日本現代文学全集23 夏目漱石集

(一)』 講談社 昭和36年3月18日

(作品解説 477～481頁 『豪華版日本現代文学全集9 夏目漱石集

(一)』収録 講談社 昭和44年1月30日)

渡辺一夫 漱石文学と僕 1～2頁 『日本現代文学全集23 夏目漱石

集(一) 月報6』 講談社 昭和36年3月18日

石垣綾子 早稲田南町の頃 3～5頁 同右

福原麟太郎 漱石と英文学 5～6頁 同右

(漱石と英文学 119～123頁 『英文学随筆』収録 八潮出版社 昭

和39年11月3日)

(漱石と英文学 漱石と英文学 127～131頁 『夏目漱石』収録 荒竹

出版 昭和48年9月25日)

井上百合子 作品の解説 三四郎 191～192頁 『人と作品現代文学講

座4集明治編4』 木俣修・川副国基・長谷川泉編 昭和36年5月

31日

伊藤整 I総論 夏目漱石の生涯 7～17頁 『漱石全集別巻 漱石

案内他』 伊藤整、吉田精一編 角川書店 昭和36年8月25日

瀬沼茂樹 解説 652～660頁 『世界名作全集68坊っちゃん』 三四郎

それから』 平凡社 昭和36年8月30日

遠藤太郎 さんしろう 三四郎 394～394頁 『国民百科事典3』 平

凡社 昭和36年8月30日

野田宇太郎 東京文学散步山の手篇 本郷・小石川 6 団子坂他

74～84頁 『文学散步』 第9号 雪華社 昭和36年9月1日

槌田満文 名作365日 255 夏目漱石『三四郎』 文化面 『東京新聞』

夕刊 第6879号 東京新聞社 昭和36年9月12日〔火曜日〕

(9月12日 三四郎 夏目漱石 165～165頁 『名作365日』 収録

河出書房新社 昭和39年1月13日)

(9月12日 三四郎 夏目漱石 298～298頁 『名作365日』 収録

講談社学術文庫 講談社 昭和57年10月10日)

無署名 三四郎(一九〇八) 夏目漱石作の小説 232～234頁 『世界名

作事典全一卷』 世界名作全集別巻 川端康成他監修 平凡社 昭

和36年11月20日

飛鳥井雅道 第七章夏目漱石 217～239頁 『日本の近代文学』 三二

書房 昭和36年12月10日

遠藤祐 漱石文学の展開―『虞美人草』『坑夫』『三四郎』のころ―

76～86頁 『季刊文学・語学』 第22号 全国大学国語国文学会編

三省堂 昭和36年12月15日

昭和37年(一九六二)

田中純 名作のモデル② 漱石『三四郎』のモデルとその生き方 230

～234頁 『マドモアゼル』 第3巻2号 小学館 昭和37年2月1

日

瀬沼茂樹 解説 449～463頁 (坊っちゃん 三四郎 道草 夢十夜所

収) 『日本文学全集第十九巻夏目漱石集』 河出書房新社 昭和37

年2月10日

(Ⅱ) 夏目漱石 漱石素描 171～186頁 『明治文学研究』 収録 法政

大学出版会 昭和49年5月31日)

伊藤整 解説 591～599頁 (三四郎 それから 道草所収) 『日本

文学全集第10巻夏目漱石(二)』 新潮社 昭和37年2月20日

(解説 591～599頁 『日本文学全集第6巻夏目漱石(二)』 収録

新潮社 昭和42年9月15日)

(夏目漱石Ⅳ 143～150頁 『伊藤整全集第19巻 夏目漱石・森鷗外

他』 収録 新潮社 昭和48年9月15日)

窪川鶴次郎 趣味の散歩⑦ 団子坂下柳通り 「読売新聞」 夕刊 第

30652号 読売新聞社 昭和37年2月23日〔金曜日〕

(趣味の散歩⑦ 団子坂下柳通り 475～475頁 『読売新聞縮刷版』 収

録 第5巻2号2月号 通巻42号 読売新聞社 昭和37年3月15

日)

(第二の歩道) 上野千駄木町から団子坂をのぼる道 二 団子坂

三四郎と美禰子 97～98頁 『東京の散歩道』 収録 現代教養文庫

480 社会思想社 昭和39年8月15日)

瀬沼茂樹 第四章 第一の三部作―『三四郎』―『永日小品』 145

159頁 / 第六章 第二の三部作―『彼岸過迄』 213～228頁 『近代

日本の思想家6 夏目漱石』 東京大学出版会 昭和37年3月20日

(第四章 第一の三部作―『三四郎』―『永日小品』 145～159頁 /

第六章 第二の三部作―『彼岸過迄』 213～228頁 『夏目漱石』 収

録 UP選書51 東京大学出版会 昭和45年7月25日)

松井啓子 夏日漱石試論「三部作」を中心として 19～32頁 「女子

大國文」 第25号 京都女子大学国文学会 昭和37年6月10日

井上百合子 小川三四郎 35～36頁／里見美禰子 77～78頁／広

田菫 126～128頁 「国文学解釈と鑑賞」 第27巻8号 近代名作作

中人物事典 至文堂 昭和37年7月1日

中村光夫 三四郎解説 218～226頁 『日本青春文学名作選第1巻三四

郎 河童 伊豆の踊子』学研新書 学習研究社 昭和37年9月20

日

（三四郎解説 214～221頁 『中村光夫全集第3巻』収録 筑摩書房

昭和47年7月25日）

（三四郎解説 63～72頁 『評論』漱石と白鳥』収録 筑摩書房

昭和54年3月10日）

福永武彦 鷗外・その挫折 208～218頁 「文芸」 第1巻8号10月号

河出書房新社 昭和37年10月1日

（鷗外・その挫折 134～151頁 『福永武彦作品・批評B』収録 文

治堂書店 昭和43年10月30日）

（鷗外・その挫折 43～79頁 『意中の文士たち上』収録 人文書

院 昭和48年6月20日）

（意中の文士たち上 鷗外、その挫折 23～38頁 『福永武彦全集

第16巻』収録 新潮社 昭和62年11月20日）

長谷川泉 鷗外と漱石 113～136頁 『森鷗外論考』 明治書院 昭和

37年11月3日

無署名 漱石文学の本質 247～253頁 （『三四郎』 248～248頁） 『文

学案内8日本の文学』久松潜一・今井源衛・高橋義孝編 新潮社

昭和37年11月30日

熊坂敦子 豊隆・草平論争 98～100頁 『近代文学論争事典』 長谷

川泉編 至文堂 昭和37年12月15日

太田文平 寅彦に対する漱石の影響 17～20頁 『寺田寅彦の作品と

生涯』 七曜社 昭和37年12月20日

昭和38年（一九六三）

井上百合子 夏日漱石 三四郎 解題鑑賞 98～111頁／それから

解題鑑賞 112～128頁 『鑑賞と研究現代日本文学講座小説3 鷗外・

漱石とその周辺』責任編集者伊藤整・稲垣達郎・勝本清一郎・成

瀬正勝・吉田精一 三省堂 昭和38年1月15日

吉田精一 江戸・東京文学散歩 190～198頁 『国文学解釈と鑑賞』

第28巻2号 至文堂 昭和38年1月15日

坂本浩 第一序篇 一、漱石の生涯 2 学生時代 2～5頁／4

熊本時代 7～9頁／二、漱石の作品 2 中期の作品 『三四

郎』 33～34頁／「それから」 34～36頁／「門」 36～38頁

／五、漱石の位置 2 知性主義 63～69頁／第二本篇 五

三四郎 157～176頁 『夏日漱石』学燈文庫 学燈社 昭和38年3

月15日

杉山和雄 「三四郎」 80～87頁 『夏日漱石の研究—国民精神の交

流としての比較文学—近代の文学別巻』南雲堂桜楓社 昭和38年

5月20日

福原麟太郎 英学十話(七) 夏日漱石 「毎日新聞」朝刊 第3133

5号 毎日新聞社 昭和38年7月16日（火曜日）

（英学十話(七) 夏日漱石 357～357頁 『毎日新聞縮刷版』収録 第

14巻7号 通巻第163号 毎日新聞社 昭和38年8月15日）

(英学十話 夏目漱石 152～153頁 『十人百話第四』収録 谷口吉郎著者代表 毎日新聞社 昭和38年11月15日)

(英学十話 七 夏目漱石 209～211頁 『文学と文明』収録 文芸春秋新社 昭和40年9月20日)

(漱石と英学 夏目漱石 123～126頁 『夏目漱石』収録 荒竹出版 昭和48年9月25日)

野間宏 文学教材への新しいアプローチ(VI) 『草枕』と『三四郎』 31～34頁 『国語教育』 第5巻9号10月号 通巻第48号 三省堂 昭和38年10月25日

(『草枕』と『三四郎』 148～154頁 『創造と批評』収録 筑摩書房 昭和44年2月10日)

(『草枕』と『三四郎』 174～179頁 『野間宏全集第十八巻 創造と批評』収録 筑摩書房 昭和46年1月20日)

(『草枕』と『三四郎』 128～134頁 『野間宏作品集第12 日本近代への廻行』収録 岩波書店 昭和63年7月6日)

柴田宵曲 『三四郎』 76～77頁 / 『石の門』 78～79頁 『漱石覚え書』 日本古書通信社 昭和38年11月20日

昭和39年(一九六四)

亀井勝一郎 文学とところどころ 三四郎の池 『東京新聞』朝刊 第7761号 東京新聞社 昭和39年2月18日(火曜日)

(随想・時計 三四郎の池 403～404頁 『亀井勝一郎全集第20巻』収録 講談社 昭和48年6月20日)

清水茂 作品論・同時代批評と評価の変遷史 『三四郎』 69～74頁 『国文学解釈と鑑賞』 第29巻3号 至文堂 昭和39年3月1日

(『三四郎』—同時代批評と評価の変遷史— 156～162頁 『日本文学研究大成 夏目漱石I』収録 日本文学研究大成刊行会監修 岡敏夫編 国書刊行会 平成1年10月15日)

小林貞孝 精神医の診た漱石の作品と病跡—病的分身と理想的分身について— 109～120頁 『国文学解釈と鑑賞』 第29巻3号 至文堂 昭和39年3月1日

井上百合子 漱石の文学—その女性像をめぐって— 10～15頁 『日本女子大学紀要文学部』 第13号 日本女子大学文学部 昭和39年3月31日

久山康 日本の近代化と伝統—夏目漱石の思想の展開をめぐって— 15～57頁 『人文論究』 第15巻1号 関西学院大学人文学会 昭和39年4月10日

(夏目漱石における近代化と伝統 47～118頁 『近代日本の文学と宗教』収録 国際日本研究所発行 創文社発売 昭和41年8月10日)

安東璋二 漱石私論(二)—作家意識の形成を中心に— 22～64頁 『人文論究』 第24号 北海道教育大学函館人文学会 昭和39年5月31日

高田瑞穂 漱石とその周囲 中期の作品 125～129頁 『改訂新版日本文学史近代』 久松潜一編 至文堂 昭和39年6月15日

太田文平 『100米10秒2の話』始末記 71～72頁 『標準化と品質管理』 第17巻9号9月号 日本規格協会 昭和39年9月15日

(『百米十秒二の話』始末記 289～291頁 『寺田寅彦の周辺』収録 日本放送出版協会 昭和50年6月10日)

岡保生 『三四郎』遺跡めぐり 10～13頁 『東書高校通信国語』 第25号 東京書籍 昭和39年10月1日

日本放送出版協会 昭和50年6月10日)

岡保生 『三四郎』遺跡めぐり 10～13頁 『東書高校通信国語』 第25号 東京書籍 昭和39年10月1日

武田泰淳 漱石の女性像 1～2頁 「現代文学大系第14卷夏目漱石集(二) 月報19」 筑摩書房 昭和39年12月15日

(漱石の女性像 1～2頁 「筑摩現代文学大系第13卷夏目漱石集

(二) 月報23」収録 筑摩書房 昭和51年4月15日)

(夏目漱石Ⅰ 14～16頁 『文人相軽ンズ』収録 構想社 昭和51年12月16日)

海老池俊治 漱石と英文学 4～5頁 「現代文学大系第14卷夏目漱

石集(二) 月報19」 筑摩書房 昭和39年12月15日

(漱石と英文学 2～3頁 「筑摩現代文学大系第13卷夏目漱石集

(二) 月報23」収録 筑摩書房 昭和51年4月15日)

中村光夫 作品解説 454～458頁 (それから 道草 明暗所収) 『日

本現代文学全集24夏目漱石集(二)』講談社 昭和39年12月19日

(作品解説 454～458頁 『日本現代文学全集24夏目漱石集(二) 増

補改訂版』収録 講談社 昭和55年5月26日)

平成二年五月十五日原稿受理

大阪産業大学 教養部